

延岡市野口

野口賞、6月から募集

今年度もキャリア教育など6事業

延岡市の野口^{しんが}遵^{じゆん}顕^{けん}彰^{しょう}会(清本英男会長)

は8日、同市旭町の旭化成向陽倶楽部で第17回総会を開き、今年度の事業計画や運営体制を決めた。

計画では、伝記の漫画版配布▽ジュニア科学者の翼▽野口賞授与▽野口遵翁生誕祭(市と共催)▽ジュニア科学スクール▽キャリア教育の6事業に引き続き取り組む。

漫画版「のべおか新興の母 野口遵」の配布は4年目。郷土学習の副読本として市内の小学4年生全員に進呈する。ジュニア科学者の翼「は中学2年生を

関東の科学技術施設に派遣する事業で18年目。派遣者の累計は今年で200人を超える予定。



「野口賞」は、独自の事業拡大

や技術開発で顕著な業績を挙げている県内の企業・個人に最高100万円を授与するもので、6月から候補者の募集を始める。

キャリア野口遵顕彰会の総会であいさつする清本会長

教育への取り組みは2年目。若者の地元就職率向上を目的に昨年延岡商工会議所内に設立された「延岡市キャリア教育支援センター」に協力するほか、顕彰会独自の取り組みについて検討する。

清本会長は「人手不足が深刻化しており、顕彰会としてもキャリア教育支援を続けたい。また、3年後の20周年には何か大きな事業を計画したい」と話した。

同会は、旭化成の創業者で国内化学工業事業の先駆者である野口遵を顕彰するとともに、後に続く人材を育てようと平成13年1月に発足した。趣旨に賛同する企業と個人の寄付金で運営している。